

つるみの風

つるみの風 第55号
2024年11月23日発行
鶴見聖契キリスト教会
〒230-0074 横浜市
鶴見区北寺尾 1-16-7
TEL 045-572-0857

それゆえ今、の不連続

「食欲の秋」「実りの秋」「芸術の秋」など、冬に向かうこの季節は身の回りの話題に事欠きませんが、今年は半袖から急にダウンジャケットへ衣替えし、じっくり味わう間もなく秋をすっ飛ばしてしまいました。近所を歩いていると、半袖の小学生がチラホラ。微笑ましくも、見ているだけでこちらが寒くなりますね。イチョウ並木の紅葉はこれから。お掃除する人はたいへんでしょうが、短くも美しい季節です。鶴見在住の皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

立て続けに国内外の選挙があり、先行きの見えない状況が続く中、今年もクリスマスと年末が近づきました。率直なところ、ズルズルと良くない方向へと世界も社会も引きずられているように思えて、心落ち着きません。身近で物価高騰を毎日体感する一方、ウクライナや中東の戦禍はいっこうに終息する気配もなく、むしろ拡大の一途をたどっています。そして、今年も平和の君イエス・キリスト降誕をお祝いするクリスマスを迎えます。どんな話をお届けしましょうか。

●歴史は原因と結果の連続？

中高生の頃、理科や物理は好きだったのですが、世界史や日本史はどうも苦手でした。権力者の名前と出来事の年号をひたすら記憶させられるだけで、背後に流れる思想や哲学を、あまり教えてもらえなかったからでしょう。とはいえ、歴史は人や自然の織り成す出来事から成り

立つ、原因と結果の連鎖であることも確か。外部から全能者が介入して事を起こすことは想定しませんから、歴史の教科書に「神は・・・」という主語は使わず、閉じられたシステムの中で原因と結果のみを考えます。

ところで、「歴史」は英語で History。「れ His Story」、つまり「神の物語」が語源と聞きます。一般の歴史では神を扱わず、私たちも意識しないまま原因と結果の連鎖に目を奪われがちですが、実は底流に大いなる神の物語が流れて、歴史が前へ前へと進んでいる。その証拠に、旧約聖書は宇宙の第一原因が神にあることを開巻劈頭から「はじめに神が天と地を創造された」(創世記一・一)と宣言して止みません。もちろん、自然科学の探求によって宇宙創成の事実とその後過程も説明されつつありますが、科学の語り得ないメッセージがここにありま

●旧約聖書の歴史は不連続



天地創造に始まる旧約聖書の歴史記述は、その大部分がイスラエル(ユダヤ)民族の歴史。全世界の祝福の基として選ばれたアブラハムが、神の声に聞き従いパレスチナへ移住する「不連続」から、その歴史は動き出します(創世記一二・一三)。子のイサクを経て、ヤコブと二人の息子たちが一族を構成しますが、下から二番目のヨセフの見た夢が、数奇な出来事の果てに当時最強の国エジプトで成就

し、なんとヨセフはエジプトのファラオに次ぐNo.2となつて、一族はエジプトへ移住すること。約四百年の間に一族は増え、恐れられたエジプト王がイスラエル民族を奴隷にして苦しめます。「不連続」な声掛けで神に召し出されたモーセ率いるイスラエルの民約二百万人は、神の導きと助けによりエジプトを脱出、荒野の四十年を経てパレスチナ(カナン)に帰還しました。

ヤハウェのみを神とする「神の民」として、イスラエル民族は定住するのですが、その土地のバアル宗教に心動かされ、ヤハウェとバアルの二股をかける偶像礼拝に陥ります。どれほど神の預言者たちから叱責と警告を受けても偶像から離れず、自分たちは祝福された神の民なのだから大丈夫、と開き直る始末。ダビデ王の時代に絶頂期を迎えたイスラエル王国は南北に分裂、やがて北王国はアッシリア帝国に、南王国はバビロニア帝国に滅ぼされてしまうのです。学校の歴史授業では、当時の大国が小国を蹂躪したと習いますが、神の視点ではイスラエルの偶像礼拝に対するさばきでした。

ここでいったんイスラエル民族の歴史は途絶えたかのように見えますが、「不連続」の底流に、脈々と神の「連続」が息づいていました。これを名付けて「それゆえ今、の不連続」と呼びましょうか。「それゆえ今、イスラエルの神、主は・・・」という「見よ。わたしは、かつてわたしが怒りと憤りと激怒をもって彼らを散らしたすべての国々から、彼らを集めてこの場所に帰らせ、安らかに住まわせる。彼らはわたしの民となり、わたしは彼らの神となる」(エレミヤ書三三・六三三八)。どうしようもないイスラエルの偶像礼拝「にもか

わらず、しかし今」ではありません。彼らの罪はひどく、自分で神に立ち返る力もない。「それゆえ今」わたしはわたしの真実に向け、全能の力で彼らを立て直し、祖国へ帰らせる。ここに「神の不連続」、人の罪深さや無力さによらない、神の介入があります。

バビロンから帰還して神殿を再建したイスラエル民族は、その後ペルシア、エジプト、シリアなどに入れ替わり立ち替わり支配され、ついにはローマ帝国の一部に組み入れられてしまします。これもまた歴史の事実です。教科書に載っている中東地域の現実です。しかし、イスラエル民族は歴史に翻弄されつつも、神の介入、神が「それゆえ、今」と動き始める時をひたすら待ち望みました。いったい何時、神の「それゆえ、今」は成就するのか。いつ、イスラエル王国はかつての栄光を取り戻すのか。あのアブラハムへの約束はどのように成就するのか。彼らがこのような切実な祈りをささげる中、ついにその時がやってきました。それがクリスマス

の出来事でした。ここでいったんイスラエル民族の歴史は途絶えたかのように見えますが、「不連続」の底流に、脈々と神の「連続」が息づいていました。これを名付けて「それゆえ今、の不連続」と呼びましょうか。「それゆえ今、イスラエルの神、主は・・・」という「見よ。わたしは、かつてわたしが怒りと憤りと激怒をもって彼らを散らしたすべての国々から、彼らを集めてこの場所に帰らせ、安らかに住まわせる。彼らはわたしの民となり、わたしは彼らの神となる」(エレミヤ書三三・六三三八)。どうしようもないイスラエルの偶像礼拝「にもか

「ルツによって」「ウリヤの妻によって」と四人の女性名。最後にイエスの母マリアが登場します。

それぞれどういう女性なのかは旧約聖書に詳述されていますが、要約するならば、タマルはアブラハムの孫ヤコブの四男ユダの嫁で、ユダはタマルの舅(しゅうと)。ラハブはエリコ在住の異邦人で遊女。ルツはモアブのバテ・シエバです。通常ならキリストの系図には入りようもない女性たちが、生粋のユダヤ人から生まれた子の連続ならぬ、いわくつきの不連続な系図を構成している。神の深いご計画と配慮としか説明のしようがありません。彼女たちこそ、不遇を乗り越え神の全人類救済計画に参与した信仰者だったので

●究極の不連続、処女降誕

この系図がヨセフの名とともにイエスの母マリアの名をゴールとしていったん閉じられた後、続いて驚くべき「不連続」な出来事が登場します。「イエス・キリストの誕生は次のようであった。母マリアはヨセフと婚約していたが、二人がまだ一緒にいないうちに、聖霊によって身ごもっていることが分かった」(マタイの福音書一・一八)。ここに原因と結果の組み合わせは存在しません。聖霊なる神が、ナザレの処女マリアに臨んで、ヨセフとの結婚前に救い主イエスを身ごもらせました。この「処女降誕」の奇跡は、原因の存在しない神の一方的なわざ。不連続きわまりない「それゆえ、今」の出来事でした。あまりの不連続ゆえ、婚約者ヨセフはこの事実を受け入れようがなく、秘かにマリアと別れることを考えます。「彼がこのこ

見よ、主の使いが夢に現れて言った。「ダビデの子ヨセフよ、恐れなさい。その胎に宿っている子は聖霊によるのです。マリアは男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。この方がご自分の民をその罪から救いになるのです」(マタイ一・二〇、二一)。

この時、ヨセフがどこまで神の壮大なご計画を理解していたか、定かではありません。でも、彼は「それゆえ今」と神が介入すること起こった救い主イエス誕生をサポートし、マリアを妻として迎え入れることで、あの遙か昔アブラハムに約束された、全世界の民が祝福されるとの計画を成就させたのでした。私たちの人生にも、それまでの歩みと不連続な、神主導の「それゆえ今」が起こる、これが聖書の約束です。どうか今年のクリスマスが、まことの神イエスと出会う機会となりますように。

<クリスマス コンサート> 入場無料

日時: 12月1日(日曜日) 14:00開演 (13:30開場)
場所: 鶴見聖契キリスト教会

<演奏>
ヴァイオリン 塚田絢子 ヴィオラ 日下水月
チェロ 石原純 ピアノ 佐々木かほる

<曲目> ※曲目が変更になる場合があります
・流れの上で シューベルト ・ロマンティックな小品より1 ドヴォルザーク
・ユーモレスク ドヴォルザーク ・戦場のメリークリスマス 坂本龍一
・ロンドンデリーの歌 アイルランド民謡 ・愛の挨拶 エルガー
・クリスマス讃美歌 (きよしこの夜 もろびとこぞりて 荒野の果てに)

鶴見聖契キリスト教会 <http://www.tsurumi-covenant.com>